

# おあしす



特定医療法人 **南山会**

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな  
・アルプス訪問看護ステーション

2019

9

第33巻9号  
(通巻385号)



南アルプス市の中野地区に広がる棚田で赤そばの花が見事に咲き誇っている。百日草や菊、マリーゴールドが咲いている場所もある。中野地区は病院前から伊奈ヶ湖に向かう県民の森公園線を車で十分ほど登ったところ。富士山や甲府盆地の眺望と相まって、棚田に咲く赤そばの花は見事な景観を作り出している。高齢化による耕作放棄地が急増していたため、住民有志でつくる「ふるさとを錦で飾り隊」のメンバーらが農村のすばらしい景観を後世に残すことを目的に棚田に種をまき、育ててきた。この棚田は櫛形山から流れ出す坪川が氾濫し、押し出した石を、江戸の昔から住民たちが傾斜地に丹念に積み重ねて造られたものである。機械化が難しく手作業による棚田での稲作は非効率的で多大な労力を伴うが、地域活性化につながる魅力的な資源としての視点でとらえなおすことも必要だろう。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1 説明と納得の  
医療

2 多職種の連携

3 「ここよさ」の追求

4 社会参加の推進

# コンチネンスケア基礎知識

## コンチネンスケアとは？

排尿や排便が正常の状態を表す言葉を英語で「continence」(コンチネンス)と言います。日本語に訳すと「禁制」です。「失禁」は「禁制」の反対語で、意識しないであるいは意志に反して尿や便が漏れる状態をさす言葉は英語で「incontinence」(インコンチネンス)と言います。

## 尿や便はどこでできる？

尿は、腎臓で作られ、尿管を通過して膀胱で溜められ、脳の指示によって、尿道から排出されます。

便は、食物から口に入り、胃、小腸、大腸を経由し直腸に溜まり、脳の指示によって肛門から排出されます。手や足腰は、トイレに行ったりトイレトペーパーを使ったりするのに大切な役割を果たします。つまり、お尻の部分だけでなく身体全体が関わっています。

尿や便が漏れる失禁排泄障害と捉え、対処方法を考えます。

## 機能性失禁の対処のしかた

### 【運動機能に問題がある場合】

排泄に関するいろいろな動作の中で、どここの部分がうまくいかないのか見極めることが基本です。

### (1) 治療・機能回復訓練

痛みの治療や筋力トレーニングなど、治療や機能回復訓練で治せるものは治します。

### (2) トイレ動作の確認

寝たきりの人でも、練習によって、座ることや立つことができるようになる場合もあります。

### (3) 介助方法の習得・工夫

介助の方法がわからなかったり、間違っていたりして失禁になっていく場合には、介護者に適切な方法を提案します。

### (4) 住環境の整備

手すりをつける、段差をなくす、トイレを改造するなど住環境の整備によってトイレ動作がしやすくなる場合があります。

### (5) 福祉用具の活用

適切な用具を選択することがポイントです。

### (6) 社会資源の活用

生活を支援する様々な制度が作られています。これを上手に活用しましょう。

### 【精神機能に問題がある場合】

認知症などの精神機能障害によって判断や認知力が低下している場合、その方の出来ることを探しながら介助します

(1) トイレに行きたいサインを見

つけましょう。

歩き回る、ポケットに手をつっこむなど、その方のトイレに行きたいサインが見つけられたらトイレに誘います。

(2) トイレの表示をはっきりさせましょう

トイレ入り口に、便座と書いたり、明るくしたりしてわかりやすいようにします。思い出すまで、できるだけトイレまで連れて行くようにします。

### (3) 脱ぎ着しやすい服にします

慣れた位置にボタンやチャックがあるといった本人がわかる衣類に替えます。

### (4) 便器の使い方を確認します

便器の使い方がわからないようであれば、声をかけます。

(5) 後始末は自分でできるかどうか確認します。

拭いたり流すことを忘れていたりうであれば声をかけたり、助けます。うまくできた時は、かならずご本人が喜ぶ方法でほめることが基本です。

最後になります。医療者ではなく患者が主語になるようなケアを実践していきましょう。

クロ

## コメディカル部主催 事例検討会

7月19日に開催した事例検討会では、当院でおこなっている嚥下評価の流れについて話をしました。

当院の嚥下評価は、外部より月2回歯科医師に来ていただき実施しています。現在はリスタート病棟と老健で主におこなっています。その他の病棟でも評価はおこなってききましたが、実際の場面に合わなければ知る機会は少ないのだと思いました。

今までに実施したケースは、患者様の食事時などの様子を見て、普段関わっているスタッフのちよつとした気づきがあり嚥下評価につながっていることを伝えました。嚥下評価をおこなっていることを知ってもらえることで、今までスタッフの中にあつた気づきを今後患者様に生かしていけるのではないかと思います。参加したスタッフの中には、部署の違いから、嚥下評価をおこなっていることを初めて知ったという人もいました。嚥下評価は今も継続しておこなわれているので、多くの事例を通してスタッフに知ってもらいたいと思います。

作業療法グループ 浅野 亨子

平成30年度 目標管理発表会

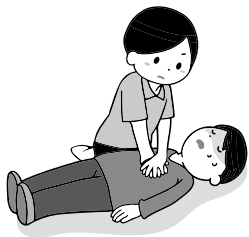


◇ 殊勲賞 ◇  
ブリエ病棟  
坂本 幸廣 他

全病棟スタッフの救命処置訓練

これまで、喉に食べ物などが詰まって窒息した時の除去訓練を行ってきましたが、救命処置はそれだけではありません。心肺蘇生法がしっかりと行われなければ救命はできません。そこで①窒息異物除去 ②一次救命処置（心肺蘇生法）③チームで救命処置をする訓練の3つを行うことにしました。対象は全病棟スタッフです。

まず指導者チームを作りました。名付けてKCLSインストラクター・チーム。医療者向けの救命処置訓練であるAHA（アメリカ心臓協会）のACLS、BLSまたは日本救急医学会のICLSの受講終了者で6名の看護師で構成されています。チーム員を募集して講習を受講することから始めました。



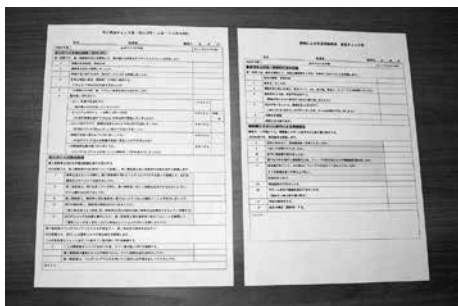
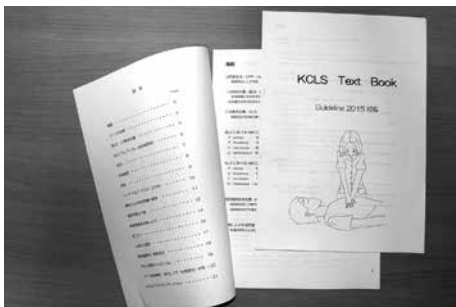
次にテキスト、技術チェック表、インストラクター・マニュアルを作成。ここまで2年かかりました。訓練用資器材もそろえてもらいませぬ。さすが教育にはお金を惜しまない峡西病院。講習の受講費用から訓練用資器材まで快く負担してくれました。

多くの人に参加してもらうには実際の訓練を、いつ、どういう方法で行うか。試行錯誤の結果、各病棟から1名ずつ参加してもらい月1回行うことにしました。

7月から12月まで、第4金曜日16:00から1時間程度、一次救命処置訓練を実施しました。3月に一時救命処置訓練参加者の中からチームで救命処置をする訓練を行いました。

苦労したことは、いかに多く参加してもらうかでした。毎月、各病棟リーダーに勤務調整のメールを送り、1週間前に参加者にテキストを配布。それでも当日になると勤務の都合がつかないと参加者が1名の月もありました。一次救命処置訓練20名、チームで救命処置をする訓練に6名が参加し技術チェックに合格しました。目標は達成しました。合格者には認定シールをネームプレートに貼ってもらっています。

蘇生術は、1分、1秒でも早く行うことが救命につながります。そのためには、いちばん近くに居合わせた人が行うこと。これからは看護、介護職だけでなく全職員に対象者を拡大していきます。自信をもって手を出せるように定期的に訓練に参加することが大切です。



# OTだより

## 盆踊り会

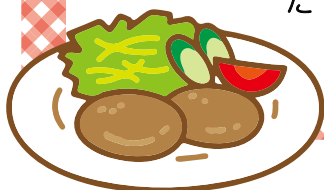
8月7日に盆踊り・かき氷会をおこないました。今年 は毎年夏に開催されていたお祭りを6月におこないました。そのため「盆踊りがしたかった」との声があり、ささやかですが、盆踊りとかき氷で夏を楽しむ会を開催しました。参加した皆様から「かき氷の種類が、抹茶味・桃味・ぶどう味の3種類があるので、1回限りではなく3回開催して3つの味を全て食べた い」「かき氷は美味しかったです。盆踊りは浴衣を着たかったです」などの感想をいただきました。希望にお答えして9月の初めにもう一度かき氷会を計画する事になりました。2種類の味は楽しんでいただけそうです。



## コロッケ会

8月14日はコロッケ会をおこないました。クレル病棟の農耕グループで、育てたじゃが芋と玉ねぎで「コロッケが作りたい」との意見が出され、久しぶりにコロッケを作ることとなりました。農耕グループ以外の方や他病棟のみなさんも誘って実施しようという事となり、じゃが芋・玉ねぎを買いたし50個分のコロッケが出来るように材料を用意しました。農耕グループの皆さんは下ごしらえのため午前中からじゃが芋をぶかし、皮むき、つぶす作業をおこなってくれました。

コロッケ会に参加した皆様からも感想をいただきました。「コロッケの形まで出来ていたので、衣を着けて揚げる作業が楽に出来ました」「味付けも美味しかったです」「ソースの他にケチャップもあつたらよかったです」「コロッケの衣をつけるときに二つに割れてしまい、難しさを感じました」「もっと大きいコロッケを食べたかったです」「肉がたくさん入っていてとてもおいしかったです」などでした。材料を提供し、下ごしらえをしてくださったクレル病棟農耕グループのみなさんありがとうございました。



# ろうけん Times ★

7月23日、老健全体にてFUJIYAMAビール、ハナテラスへ行ってきました。  
美味しいご飯を食べ満足し、お土産を買い帰ってきました。



# 本の紹介コーナー

今回は、リスタート病棟看護師の山宮富美子さんに、おすすめの本を聞きました！

## 本の題名：光のお父さん ファイナルファンタジー14

(マイディー／講談社／2017年3月16日)

### ●読んだきっかけは？

いつもは見ない映画の紹介コーナーをテレビで見た時に、たまたま紹介されていました。面白そうだなと思ったのですが、この話はブログ内のドキュメンタリー連載が本になったものだと知って本を読みました。

### ●本のあらすじ・おすすめのポイントは？

主人公はある日、お父さんが胃がんだと知ります。たった一人のお父さんなのに、お父さんが死んだとき、泣くほどの思い出も感じられない程にすれ違ってしまっていることを認識します。元々ゲーム好きなお父さんに、自分がやっているオンラインゲームのファイナルファンタジーをプレゼントしてゲームを始めてもらう。60歳を超える「光の戦士」となってもらいゲームの中では息子であることを隠して友達になる。お父さんとゲームを通して一緒に冒険を続け、この世界でたくさんの言葉を交わし、いつの日か本当の友達になれた時、その友達がずっとすれ違っていた息子だと伝える。名付けて「光のお父さん計画」。



◆抱負…一つ一つ大切に実践していききたいです。

◆好きな場所…山奥  
猫のいる所

◆趣味…旅行・名店食べ歩き



石川 大典  
看護師  
(アスピール病棟)

◆出身地…甲斐市  
◆趣味…食べること  
◆好きな食べ物…米



佐野 里実  
管理栄養士  
(栄養課)

新入社員紹介

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

### ■ 臨床倫理

1. 精神障害者を扱う医療機関として、患者様の人格尊重や意思の尊重、自己決定権の尊重を最大限配慮した医療を展開いたします。
2. 患者様の機能的状態や病状に対する説明、診療内容、必要な事項の説明を、わかりやすく丁寧に行います。
3. 当院での医療が納得して受けいられるように、患者様が他医療機関でセカンド・オピニオンを求める機会を支援いたします。
4. 当院での医療にとどまらず、かかりつけ医療機関・福祉介護施設・障害者社会復帰施設などとの連携を深めて、患者様の生活の場を重視した医療とケアを目指します。

日常の倫理的問題に適切・迅速に対処するため、職業倫理・臨床倫理に関する検討を定期的に行います。



**今月の予定 9月**

9日 栄養管理委員会

12日 主任・副主任研修

18日 広報委員会

**今月の一枚**

楽山館4階のクレル(C)病棟に機械浴が設置されました。これまで浴槽に入れなかった患者様がゆっくりと入れるようになり、とても気持ちよさそうです。

**おあしす 広場**

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

マッサージや ぼくの幸せ 雨蛙 あまがえる 今福 和人

妙法寺 木々の間に間に 紫陽花や あじさい もこもこに咲き 触れてはみたり 大森真知子

カラス鳴く富士川の朝夏の空 カナメ

ちひろ展 南アルプス 美術館 恵 風

淡い水彩に こころ和んで

風少しやがて夜空に花火かな 阪本みずほ

快音にのびる打球や夏の空 塚原 光明

ふうりんの音耳に入る夏の夕 羽村 茂

川原には 鈴むし鳴いて 暑さ終え 渡辺 あき

※掲載は五十音順です。

**施設案内** ※敷地内全面禁煙です☹

5ヶせんかん 楽山館  
療養病棟  
急性期病棟  
作業療法室 など

じしんかん 如春館  
アルプス訪問看護ステーション  
外来

ゆづりかん 有朋館  
フレンズアルプスファーム など

老人保健センター  
通所リハビリテーション  
外来 正面入口  
外来 駐車場 1  
ATM  
外来 駐車場 2

←至・国道52号線 至・伊奈ヶ湖→

**交通案内**

- JR中央線  
甲府駅より車で40分
- JR身延線  
東花輪駅より車で15分
- 中央高速  
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道  
南アルプスICより車で5分
- 山交バス  
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分